

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年4月1日

堺 市長 殿



提出者

住 所 大阪府堺市美原区丹上330-5

氏 名 株式会社 エスシー産業

代表取締役 岡野 ちか

電話番号 072-363-5569

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2021年度の産業廃棄物

処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社 エスシー産業 堀工場
事 業 場 の 所 在 地	大阪府堺市美原区丹上330-5
事 業 の 種 類	生コンクリート製造業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	2022年4月1日～2023年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	6086	全 処 理 委 託 量	5786
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	300	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 熱 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	5786	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 处 分 又 は 海 洋 投 入 处 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンクリート塊)



項目	実績値
①排出量	4714
②自ら直接再生利用した量	300
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
④自ら中間処理した量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑥自ら中間処理した後の残さ量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑧自ら中間処理した後再生利用した量	0
⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑩自ら中間処理した後の処理委託量	0
⑪自ら優良認定業者への処理委託量	0
⑫自ら熱回収を行った業者への処理委託量	0
⑬自ら熱回収認定業者への処理委託量	-
⑭自ら熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0

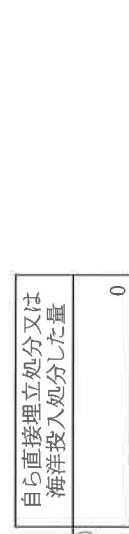
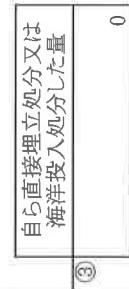
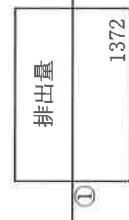
項目	実績値
②自ら直接再生利用した量	300
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0

項目	実績値
⑧自ら中間処理した量	0
⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑩自ら中間処理した後の処理委託量	0
⑪自ら優良認定業者への処理委託量	0
⑫自ら熱回収を行った業者への処理委託量	0
⑬自ら熱回収認定業者への処理委託量	-
⑭自ら熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



項目	実績値
①排出量	1372
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行つた量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨ 0
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩ 0
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑪ 0
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑫ 0
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑬ 0
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑭ 0

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0
⑩のうち再生利用率 業者への処理委託量	⑯ 0
⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑰ 0
⑫のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑱ 0
⑬のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑲ 0
⑭のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑳ 0

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。